

# 売れる米づくり技術情報No.1

R8.2.27

良質米づくりは、田植え日に合わせた適期播種と土づくりから！

## 1. 床土・覆土の準備 ※稚苗一箱当たりの準備例 ※ナエファインはこだわり米使用不可

	資材名	一箱当りの 使用量	使用方法
床土	床土	4L	参考) ニューラミックス、ホーネンス培土で2.8kg
	稚苗苗代配合	30~40g	
覆土	覆土	1L	参考) 嵐北床土、育苗床土で1~1.2kg
病害対策	ダニール粉剤・ダニール1000、トファイン粉剤・トファイン70アプル、カミノ粒剤・カミノ液剤 ※詳細は別紙播種前技術情報をご確認ください。		

## 2. 種籾の準備から苗管理まで ※作業めやすは稚苗加温 5月10日移植の場合

塩水選  
4/7 (1日間)  
【種子消毒】

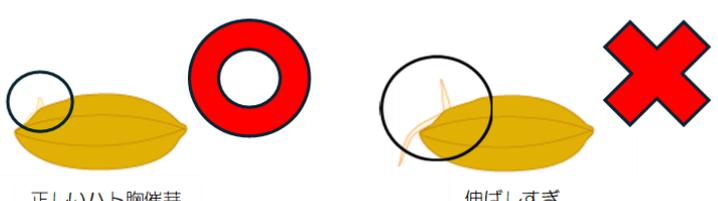
浸種  
4/8  
(約10日間)

催芽  
4/18  
(1~2日間)

播種  
4/20~

種類	比重	水10Lに溶かす 食塩の量
うるち	1.13	1.9kg
もち	1.08	1.1kg

水量	水温	浸種期間 (水温×浸種日数)
種籾1kg : 水3.5L	10~15℃	積算温度で100℃
要点	☆コシヒカリは水温12℃で浸種期間120℃ ※詳細は別紙播種前技術情報をご確認ください。	

温度	注意事項
30℃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハト胸状態まで行う。(発芽率が全体の80%以上になったら終了)</li> <li>・コシヒカリや五百万石など発芽しにくい品種は催芽不足にならないよう、もち品種では芽の伸ばし過ぎに十分注意する。</li> <li>・催芽時の高温は細菌性病害の発病を助長するので注意する。</li> <li>・ハト胸催芽機へのカスミン液剤の加用は厳禁。(耐性菌の発生を助長する恐れがある)</li> </ul> 

一箱当たり播種量(稚苗)	10a当り必要箱数のめやす	
乾籾 : 130~140g	50株植え : 15~16箱	コシヒカリ
催芽籾 : 160~175g	60株植え : 17~18箱	こしいぶき、ゆきん子舞

### 3. テクリードCフロアブルもしくはタフブロックを使用する場合の種子消毒

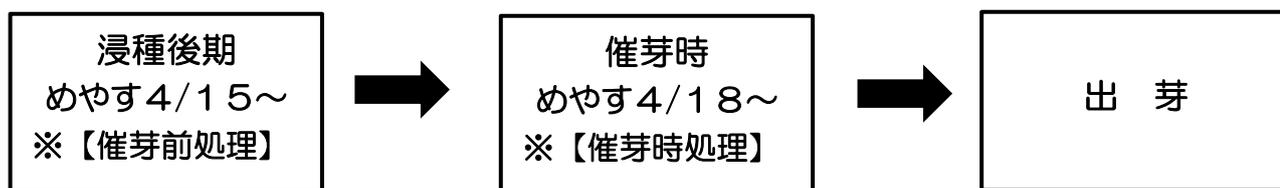
消毒・風乾：めやす4/7～

※塗沫法、浸漬法、詳細は別紙  
播種前技術情報をご確認ください。

テクリードCフロアブル希釈早見表				
種粒量		4kg	8kg	10kg
浸漬法 (200倍)	水量	8L	16L	20L
	薬量	40ml	80ml	100ml

農薬登録状況確認日 令和8年1月19日

☆「タフブロック」を使用した種子消毒 ※「タフブロック」はこだわり米指定薬剤です。  
温湯消毒との体系処理により、安定した防除効果が期待できます。



※浸種後期～出芽についての詳細は別紙播種前技術情報をご確認ください。

### 4. 土づくりと根域確保で、気象変動に負けない稲を目指しましょう！

#### ◎根域の確保【作土深の目標 15 cm】

- ・深耕は、根量を増やし養分吸収量が増加し収量・品質の安定化につながります。
- ・深耕は、一度に深く耕さず、徐々に作土15cmになるよう作深しましょう。

### 5. 令和8年播種用水稲種子コシヒカリBLの休眠性について

①「令和8年播種用のコシヒカリBL種子の休眠は、深いと推定される」との情報提供が  
作物研究センターよりありました。

#### ② 今後の対応について

浸種水温、期間は、通常では水温10～15℃で積算水温 100℃であるが、令和8年播種用BL種子は休眠が深いと推定されることから、発芽揃いを良くするため浸種水温 12℃、積算水温 120℃を目安に浸種する（十分に給水した種粒は籾殻が透きとおったアメ色になる）。  
また、浸種初期の水温が低いと発芽不良になり易いので、10℃未満の低水温にしないよう注意し、酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、水の更新を適切に行う。

LINEで稲作・米穀情報の発信をやっています！

#### 方法① ID 検索

[友達追加]>[検索]で

@287vzxcx を入力

#### 方法② QRコードを読み取る

[友達追加]>[QRコード]で、

右のQRコードを読み取る。



#### 【お問い合わせ先】

なんかん北宮農センター  
米穀課

TEL：0256-47-1429